



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
 コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月8日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 伊部 充弘
 (氏名) 西澤 知幸

TEL 03-3661-1039

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	15,970	△3.1	597	△65.3	663	△63.8	657	△50.5
29年3月期第1四半期	16,488	12.0	1,720	67.4	1,832	208.1	1,328	49.0

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 △754百万円 (—%) 29年3月期第1四半期 1,206百万円 (543.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.39	—
29年3月期第1四半期	25.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	111,893	60,737	54.2	1,153.47
29年3月期	114,357	63,504	55.4	1,192.73

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 60,593百万円 29年3月期 63,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	33,000	2.1	2,300	△27.0	2,300	△25.4	1,600	△20.3	30.46
通期	68,000	4.9	5,000	10.1	5,000	12.7	3,800	7.2	72.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	53,119,190 株	29年3月期	53,119,190 株
30年3月期1Q	587,792 株	29年3月期	4,192 株
30年3月期1Q	53,086,491 株	29年3月期1Q	53,115,305 株

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売実績	9
(2) 新薬パイプラインの状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しにより全体として緩やかな回復基調を辿りましたが、中国を始めとするアジア新興国の経済の不確実性や朝鮮半島の政治的緊張の高まりなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が引き続き強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は、159億70百万円（前年同四半期比3.1%減）となりました。一方、利益につきましては、売上高の漸減に加え、EAファーマ株式会社との新規プロトンポンプ阻害剤（以下「Z-215」）に関するライセンス契約の終了に伴い、進行中の研究開発をすべて中止し、その清算に係る経費を当第1四半期に研究開発費として処理したことにより、営業利益は5億97百万円（前年同四半期比65.3%減）、経常利益は6億63百万円（前年同四半期比63.8%減）、さらに親会社株主に帰属する四半期純利益は6億57百万円（前年同四半期比50.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール[®]」は、国内において後発品の影響を受けたものの、総じて堅調に推移いたしました。なお、国内におきましては、平成29年5月に1日1回の用法・用量の承認を取得し、製品競争力を向上させました。炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort[®]」（国内販売名：「ゼンタコート[®]」）につきましては、引き続き売上を拡大いたしました。機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド[®]」につきましては、市場構築が計画対比遅れる状況となっておりますが、内視鏡実施医療機関を中心に潜在的な機能性ディスペプシア患者の掘り起しに努めることにより、進展を図っております。一方、H₂受容体拮抗剤「アシノン[®]」、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック[®]」などの製品は、後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、89億58百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ[®]群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上を拡大いたしました。一方、「コンドロイチン群」及び「ウィズワン[®]群」につきましては、市場競争の激化により苦戦いたしました。なお、平成28年10月よりイオナ インターナショナル株式会社から当社へ販売業務を移管した「イオナ[®]」化粧品につきましては、新体制の下、引き続き市場拡大に注力しております。

これらの結果、当事業の売上高は、69億75百万円（前年同四半期比0.9%減）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は36百万円（前年同四半期比7.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,118億93百万円となり、前連結会計年度末対比24億64百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が382億78百万円で、前連結会計年度末対比4億86百万円の減少、固定資産が736億14百万円で、前連結会計年度末対比19億77百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少8億56百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加5億70百万円、前渡金の減少等流動資産のその他の減少3億38百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少10億53百万円、投資その他の資産の減少6億9百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は511億56百万円となり、前連結会計年度末対比3億3百万円の増加となりました。その内訳は流動負債が454億3百万円で、前連結会計年度末対比2億25百万円の増加、固定負債が57億52百万円で、前連結会計年度末対比77百万円の増加となっております。流動負債の増減の主なものは、短期借入金の増加12億73百万円、賞与引当金の減少3億74百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少7億42百万円であります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は607億37百万円となり、前連結会計年度末対比27億67百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上6億57百万円、前期末配当の実施8億49百万円、自己株式の増加11億55百万円、為替換算調整勘定の減少15億72百万円等によるものであります。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ1.2%低下し、54.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、「Z-215」に関するライセンス契約の終了に伴い、進行中の研究開発をすべて中止し、その清算に係る経費を当第1四半期に研究開発費として処理したことにより、前年同四半期対比大幅な減益となりました。しかしながら、第2四半期以降につきましては、予定されていた「Z-215」に関する研究開発費が発生しないことに加え、アサコール®やEntocort®、ヘパリーゼ®群などの主力製品の売上高が引き続き堅調に推移する見込みであることから、平成29年5月12日に公表いたしました平成30年3月期の第2四半期（累計）及び通期の連結業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,250,770	8,394,423
受取手形及び売掛金	16,620,483	16,750,188
有価証券	100,000	107,130
商品及び製品	4,907,424	5,296,291
仕掛品	852,370	995,428
原材料及び貯蔵品	2,848,742	2,886,961
その他	4,218,589	3,880,036
貸倒引当金	△33,386	△31,580
流動資産合計	38,764,995	38,278,879
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,915,466	7,785,261
土地	11,698,480	11,696,595
その他（純額）	4,540,381	4,358,044
有形固定資産合計	24,154,328	23,839,900
無形固定資産		
のれん	9,240,155	8,980,196
販売権	17,922,410	17,249,827
その他	6,722,426	6,601,101
無形固定資産合計	33,884,992	32,831,125
投資その他の資産		
投資有価証券	9,206,415	8,746,833
退職給付に係る資産	7,686,879	7,538,147
その他	701,435	700,164
貸倒引当金	△41,378	△41,438
投資その他の資産合計	17,553,351	16,943,707
固定資産合計	75,592,673	73,614,733
資産合計	114,357,668	111,893,613
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,272,697	2,304,232
短期借入金	33,061,728	34,335,087
未払法人税等	403,135	442,920
賞与引当金	1,224,036	849,371
返品調整引当金	48,013	48,391
売上割戻引当金	129,095	127,358
その他	8,039,317	7,296,347
流動負債合計	45,178,025	45,403,710
固定負債		
長期借入金	2,884,150	2,679,200
退職給付に係る負債	757,497	817,700
資産除去債務	54,499	54,564
その他	1,978,849	2,200,965
固定負債合計	5,674,996	5,752,430
負債合計	50,853,021	51,156,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	11,685,121	11,685,121
利益剰余金	39,654,887	39,462,645
自己株式	△5,283	△1,160,791
株主資本合計	57,928,123	56,580,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	231,982	395,913
為替換算調整勘定	2,520,848	947,959
退職給付に係る調整累計額	2,670,817	2,669,202
その他の包括利益累計額合計	5,423,648	4,013,076
非支配株主持分	152,874	144,022
純資産合計	63,504,646	60,737,472
負債純資産合計	114,357,668	111,893,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	16,488,402	15,970,046
売上原価	4,283,740	4,761,347
売上総利益	12,204,661	11,208,699
返品調整引当金戻入額	58,381	48,013
返品調整引当金繰入額	58,636	48,391
差引売上総利益	12,204,406	11,208,321
販売費及び一般管理費	10,483,583	10,611,299
営業利益	1,720,823	597,022
営業外収益		
受取利息	1,303	2,142
受取配当金	150,824	132,611
その他	60,914	38,283
営業外収益合計	213,042	173,037
営業外費用		
支払利息	69,870	39,902
為替差損	—	59,384
その他	31,177	6,846
営業外費用合計	101,047	106,133
経常利益	1,832,818	663,926
特別利益		
投資有価証券売却益	216,435	562,810
特別利益合計	216,435	562,810
特別損失		
固定資産除却損	292	563
特別損失合計	292	563
税金等調整前四半期純利益	2,048,962	1,226,173
法人税等	712,463	563,047
四半期純利益	1,336,498	663,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,995	5,526
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,328,502	657,598

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,336,498	663,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△596,716	163,931
為替換算調整勘定	632,723	△1,579,901
退職給付に係る調整額	△166,264	△1,615
その他の包括利益合計	△130,257	△1,417,584
四半期包括利益	1,206,240	△754,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,219,409	△752,974
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,168	△1,485

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,413,269	7,041,224	16,454,494	33,908	16,488,402	—	16,488,402
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	50	50	138,358	138,408	△138,408	—
計	9,413,269	7,041,274	16,454,544	172,266	16,626,811	△138,408	16,488,402
セグメント利益	1,176,657	1,891,932	3,068,589	59,844	3,128,434	△1,407,610	1,720,823

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,407,610千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成29年4月1日 至平成29年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,958,441	6,975,029	15,933,470	36,576	15,970,046	—	15,970,046
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20	20	135,505	135,525	△135,525	—
計	8,958,441	6,975,049	15,933,490	172,082	16,105,572	△135,525	15,970,046
セグメント利益	59,570	1,765,967	1,825,538	58,858	1,884,396	△1,287,374	597,022

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,287,374千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

（単位：千円）

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	8,958,441	△4.8
コンシューマーヘルスケア事業	6,975,029	△0.9
報告セグメント計	15,933,470	△3.2
その他	36,576	7.9
合計	15,970,046	△3.1

(注) 1. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2. 金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

(平成29年8月4日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズⅢ (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅢ	Z-213/ カルボキシマルトース第二鉄	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品
フェーズⅡ (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

発売となった開発品

発売日	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
平成29年5月18日	Z-206/メサラジン (アサコール®用法・用量追加)	ゼリア (協和発酵キリン との共同開発)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
平成28年11月29日	ブデソニド (製品名:ゼンタコート®)	アストラゼネカ	クローン病	糖質コルチコイド	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
承認申請中 (欧州)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州・米国)	TP09/ CPP-1X・スリンダク	Tillotts Pharma (Cancer Prevention Pharmaceuticals との共同開発)	家族性大腸腺腫症	ポリアミン合成抑制	導入品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品